

第2章 想定津波の設定

〈配慮事項〉

- 本町に及ぼす影響が最も大きな津波を発生させる想定地震の把握
- 本町に及ぼす影響が最も大きな津波による浸水予想地域の把握

1 想定地震

本計画では、「1000年に1度程度の間隔で生じる大津波」を浸水想定津波として設定した。駿河湾内における過去の津波被害の痕跡調査によると、1498年の明応地震（M8.4）に伴い発生した「明応東海地震津波」の痕跡が他の津波に比べて著しく大きいことから、この津波を1000年に1度の規模の津波と考え、「明応東海地震津波」を引き起こす規模の地震を本計画の想定地震とした。

2 浸水予想地域

想定地震により発生する津波の浸水予想地域は下図に示すとおりである。浸水深は海岸部で最大約8.6mになるものと予測されている。

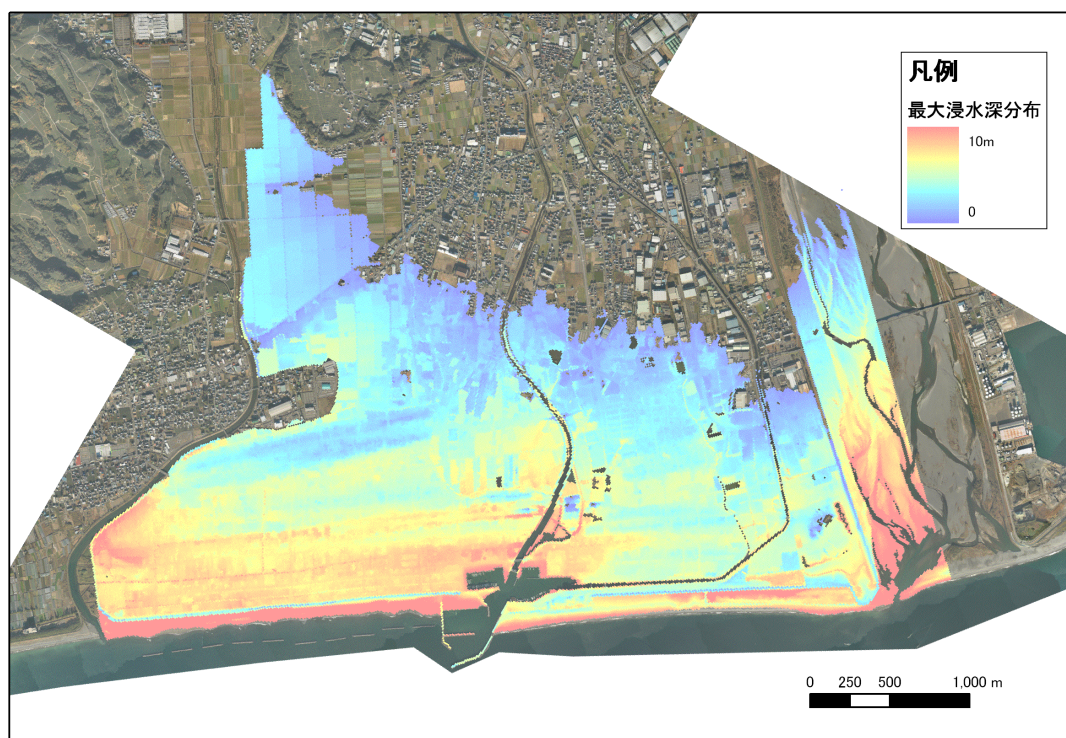


図 明応地震津波による最大浸水深図（吉田町域）